



MOTIF XFエディター VST インストールガイド

ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、〈ソフトウェア使用許諾契約〉を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

本ソフトウェアのダウンロード、インストール、コピー、その他のご使用をされた場合には下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みください。ご同意いただけない場合は、ダウンロード、インストール、コピー、その他のご使用をおやめください。すでにダウンロードやインストールをしたが、下記条項にご同意いただけないという場合には、速やかに本ソフトウェアを削除してください。

ソフトウェア使用許諾契約

1. 著作権および使用許諾

弊社はお客様に対し、ソフトウェアプログラムおよびデータファイル（以下「本ソフトウェア」といいます。）を使用する権利を許諾します。本契約条項は、今後お客様に一定の条件付きで配布され得る本ソフトウェアのバージョンアッププログラム、データファイルにも適用されるものとします。本ソフトウェアの権利およびその著作権は、弊社または弊社のライセンサーが有します。本ソフトウェアの使用によって作成されたデータの権利はお客様が取得しますが、本ソフトウェアは、関連する著作権法規のもとで保護されています。

- お客様のコンピューターにおいて使用することができます。
- バックアップが許されているものは、バックアップをとる目的でのみ、機械で読み取れる形式での本ソフトウェアのコピーを作成することができます。ただし、そのバックアップコピーには本ソフトウェアに表示されている弊社の著作権の表示や他の権利帰属についての説明文もコピーしてください。
- お客様は、本ソフトウェアを使用する権利を第三者に譲渡することができますが、それは、お客様が本ソフトウェアのコピーを保持せず、かつ譲受人が本契約条項に同意する場合に限られます。

2. 使用制限

(1) 本ソフトウェアの使用にあたっては、次のことを遵守してください。

- 本ソフトウェアには著作権があり、その保護のため、お客様が本ソフトウェアを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他のいかなる方法によっても、人間が感得できる形にすることは許されません。
- 本ソフトウェアの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、頒布または本ソフトウェアの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。
- 本ソフトウェアをネットワークを通して別のコンピューターに伝送したり、ネットワークで他のコンピューターと共有することは許されません。
- 本ソフトウェアを使用して、違法なデータや公序良俗に反するデータを配信することは許されません。
- 弊社の許可無く本ソフトウェアの使用を前提としたサービスを立ち上げることは許されません。

(2) 楽曲用MIDIデータ等、本ソフトウェアにより使用または入手できる著作権曲については次のことを遵守してください。

- 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく営業目的で使用することは許されません。
- 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく複製、転送または配信したり、または不特定多数にむけて再生および演奏することは許されません。
- 本ソフトウェアの使用によって入手できるデータの暗号を著作権者の許可無く解除したり、電子透かしを改変したりすることは許されません。

3. 終了

本契約はお客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日に発効します。本契約は、お客様が著作権法または本契約条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに本ソフトウェアとそれに関するドキュメンテーション、およびそれらのコピーをすべて廃棄しなければなりません。

4. 本ソフトウェアに関する保証

本ソフトウェアのご使用についての一切のリスクはお客様のご負担となります。

本ソフトウェアの商品性、特定の目的への適合性、第三者の権利を侵害しないことの保証は明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。特にお客様の目的に適合することや、ソフトウェアの操作が中断されないことやソフトウェアの欠陥や瑕疵が修正されることの保証はいたしません。

5. 責任の制限

弊社の義務は、お客様に本契約条項の条件で本ソフトウェアの使用を許諾することがすべてです。

弊社は、本ソフトウェアの使用、誤用またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生の可能性について予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。すべての損害、損失、契約や違法行為等に対する訴訟申立てについて、いかなる場合も、お客様に対する弊社の責任は、お客様がソフトウェアの購入のために支払った金額を越えることはありません。

6. 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション（以下「第三者ソフトウェア」といいます）を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本契約条項にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。

- 弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。
- 弊社は、明示であると黙示であるとを問わず、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証をいたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様の負担となります。
- 弊社は、第三者ソフトウェアの使用、誤用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

7. 一般事項

本契約条項は、弊社の権限ある者の署名のある書面によらない限り、改訂することはできません。

本契約条項は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。本契約に関し紛争が生じた場合には東京地方裁判所を専属管轄裁判所とします。

ご注意

- このソフトウェアおよびインストールガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- 巻頭にこのソフトウェアのご使用条件が記載されています。このソフトウェアをインストールする前に、必ずこのご使用条件をお読みください。
- このソフトウェアおよびインストールガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- このソフトウェアおよびインストールガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- アプリケーションのバージョンアップなどに伴う製品本体のシステムソフトウェア(製品のファームウェアなど)および一部の機能や仕様の変更については、下記URLをご参照ください。
<http://www.yamahasynth.com/jp/>
- このインストールガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- MacまたはMacintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- FireWireおよびFireWireシンボルは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。FireWireロゴはApple Inc.の商標です。
- SteinbergおよびCubaseは、Steinberg Media Technologies GmbH社の登録商標です。
- 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

USB TO HOST端子ご使用時の注意

USB TO HOST端子でコンピューターと接続するときは、以下のことを行なってください。

以下のことを行なわないと、コンピューターや本体が停止(ハングアップ)して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。コンピューターや本体が停止したときは、電源を入れ直し、コンピューターを再起動してください。

- 注記**
- USB TO HOST端子でコンピューターと接続する前に、コンピューターの省電力(サスペンド/スリープ/スタンバイ/休止)モードを解除してください。
 - 本体の電源を入れる前に、USB TO HOST端子とコンピューターを接続してください。
 - 本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行なってください。
 - ・すべてのアプリケーションを終了してください。
 - ・本体からデータが送信されていないか確認してください。(鍵盤を演奏したりソングを再生させたりしても、本体からデータが送信されます。)
 - 本体の電源オフ/オンやUSBケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔を空けて行ってください。

MOTIF XFエディター VSTについて

MOTIF XFエディター VSTは、MOTIF XF6/7/8のボイスまたはマルチ音源(ソング/パターンモード)の設定を、コンピューター画面を使って視覚的に確認しながら編集することができるソフトウェアです。

MOTIF XF6/7/8本体のパラメーターをコンピューターからリモートで編集したり、MOTIF XF6/7/8内のデータをコンピューターに保存したりできます。

このMOTIF XFエディター VSTは、Steinberg社が提唱する「VST3テクノロジー」に対応しており、Cubaseシリーズ(バージョン5.1.1以降)上でVST3プラグインとして利用できます。MOTIF XFエディター VSTは、Cubaseシリーズ上では他のソフトウェアVSTインストゥルメントと同様の操作で使えますので、編集した内容をプロジェクトファイルに保存したり、以前保存した音色を他のプロジェクトで利用したりすることもできます。MOTIF XFエディター VSTを使用することで、ソフトウェアとハードウェアが統合された環境となります。

ソフトウェアの活用手順

WindowsとMacでは、データの内容やインストール方法が異なります。

以下、各OSに対応した説明をお読みください。

- 1** お使いのCubaseシリーズでMOTIF XFエディター VSTが動作することを確認します。..... [4ページ](#)
- 2** ドライバーをインストールします。..... [4ページ](#)
- 3** MOTIF XFエディター VSTをインストールします。..... [5ページ](#)
- 4** Cubaseシリーズ上で、MOTIF XFエディター VSTを起動します。..... [5ページ](#)

これ以降の操作については、各ソフトウェアの[ヘルプ]メニューから、PDFマニュアルをご参照ください。

ソフトウェアの動作環境

Cubaseシリーズのバージョン5.1.1以降の動作環境に準じます。
ただし、Mac OSについては、10.5以降でのみ動作します。また、Power PC環境には対応していません。

ソフトウェアのインストール

MOTIF XFエディター VSTをCubaseシリーズのプラグインとして使用するためには、以下のソフトウェアをインストールする必要があります。以下のインストール手順に従って、必要なソフトウェアをインストールしてください。

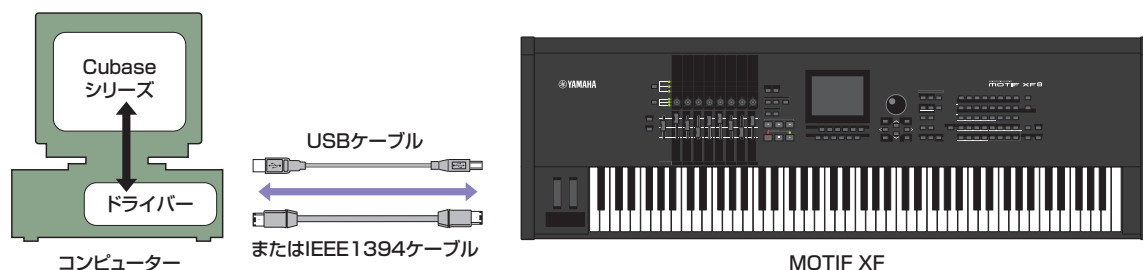
- USB-MIDIドライバー、Yamaha Steinberg FW Driverのいずれか
- MOTIF XFエディター VST

ドライバーのインストール

USBケーブルまたはIEEE1394ケーブルを使ってMOTIF XF6/7/8をコンピューターに接続する場合は、コンピューターにUSB-MIDIドライバーまたはYamaha Steinberg FW Driverのいずれかを正しくインストールする必要があります。

USB-MIDIドライバーは、コンピューター上のCubaseシリーズとMOTIF XF6/7/8との間で、USBケーブルを通じてMIDI信号を送受信するために必要なソフトウェアです。

Yamaha Steinberg FW Driverは、コンピューター上のCubaseシリーズとFW16Eを装着したMOTIF XF6/7/8との間で、IEEE1394ケーブルを通じてオーディオ/MIDI信号を送受信するために必要なソフトウェアです。



USB-MIDIドライバーのインストールおよび最新情報については、下記URLをご確認ください。

http://www.yamaha.co.jp/download/usb_midi/

Yamaha Steinberg FW Driverのインストールおよび最新情報については、下記URLをご確認ください。

<http://www.yamahasynt.com/jp/downloads/>

NOTE MOTIF XFエディター VSTはMIDIケーブルを使った接続はサポートしません。

NOTE USB-MIDIドライバーでMOTIF XF6/7/8を接続する場合は、別途オーディオインターフェースを用意して、ドライバーを正しくインストールしておく必要があります。詳しくは6ページ「コンピューターとのオーディオ結線」をご参照ください。

MOTIF XFエディター VSTのインストール

以下の手順で、MOTIF XFエディター VSTをインストールできます。

Windowsの場合

1 ダウンロードした圧縮ファイルの解凍先にある「Install MOTIF XF Editor VST 32bit.exe」 / 「Install MOTIF XF Editor VST 64bit.exe」をダブルクリックします。

MOTIF XFエディター VSTのセットアップダイアログが表示されます。

NOTE MOTIF XFエディター VSTをインストールするときは、管理者権限のあるアカウントで行なってください。

2 画面の指示に従ってインストールを実行します。

Macの場合

1 ダウンロードした圧縮ファイルの解凍先にある「Install MOTIF XF Editor VST.pkg」をダブルクリックします。

MOTIF XFエディター VSTのセットアップダイアログが表示されます。

2 画面の指示に従ってインストールを実行します。

MOTIF XFエディター VSTとその他必要なソフトウェアのインストールが完了すると、CubaseシリーズからMOTIF XFエディター VSTを起動できます。起動方法は他の一般的なソフトウェアVSTインストールメントと同様です。詳しくは、お使いのCubaseシリーズの取扱説明書をご参照ください。

ソフトウェアのアンインストール(アプリケーションの削除)

次の方法で、コンピューターにインストールしたMOTIF XFエディター VSTを削除できます。

NOTE ご使用のOSによりメニュー名やボタン名などが異なる場合があります。

Windowsの場合

[スタート] → [コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除] → [プログラムの変更と削除]で、「Yamaha MOTIF XF Editor VST」または「Yamaha MOTIF XF Editor VST 64bit (64ビット版)」を選択し、[削除]をクリックします。

ダイアログが表示されますので、画面の指示に従って削除を実行してください。

Macの場合

ダウンロードした圧縮ファイルの解凍先にある「Uninstall MOTIF XF Editor VST.app」をダブルクリックします。

ダイアログが表示されますので、画面の指示に従ってアンインストールを実行してください。

ご使用前の準備

コンピューターとのオーディオ結線

MOTIF XFエディター VSTを使用するためには、MOTIF XF6/7/8とコンピューターをオーディオ結線する必要があります。オーディオ結線することで、他のソフトウェアVSTインストゥルメントと同様のフリーズ機能やCubaseシリーズのオーディオミキサーでのミックスなどの機能が最大限活用できます。

Yamaha Steinberg FW Driverを使う場合は、コンピューターとMOTIF XF6/7/8とのオーディオ結線が自動的に行なわれます。

USB-MIDIドライバーを使う場合は、別途オーディオインターフェースを用意して、MOTIF XF6/7/8とのオーディオ結線を行なう必要があります。オーディオインターフェースのドライバーを正しくインストールした後に、MOTIF XFエディター VST上で、MOTIF XF6/7/8をオーディオ接続したオーディオインターフェースのポートを選択してください。

NOTE USB-MIDIドライバーでMIDI接続のみ使用する場合も、VSTI設定画面でオーディオポートを選択しておく必要があります。オーディオポートを設定していない場合や、オーディオドライバーがコンピューターにインストールされていない場合は、MOTIF XFエディター VST上でエラーメッセージが表示される場合があります。エディターのVSTI設定画面でオーディオポートを設定することをおすすめします。

トラブルシューティング(困ったときは)

インストール後にMOTIF XFエディター VSTを起動し、USBケーブル/IEEE1394ケーブル経由でMOTIF XFエディター VSTからMOTIF XF6/7/8を操作した場合、正常に動作しない

- ドライバーは最新のをインストールしましたか？ [4ページ](#)
- コンピューターとMOTIF XF6/7/8を接続しているUSBケーブルまたはIEEE1394ケーブルは、正しく接続されていますか？..... [MOTIF XF6/7/8取扱説明書](#)
- MOTIF XF6/7/8をコンピューターと接続している間に、コンピューターの省電力モード(スタンバイ、スリープ、休止モードなど)に入ると、コンピューターがハングアップしたり、ドライバーの機能が停止する場合があります。USB-MIDIドライバー、Yamaha Steinberg FW Driverを使う場合は、コンピューターの省電力モードをオフにしてください。
- 正常なケーブルを使っていますか？
ケーブルが断線などで劣化している場合は、正常なケーブルに交換してください。
- 接続にはハブなどを使用しないでください。

描画がもたつく

- お使いのコンピューターは動作環境を満たしていますか？ [4ページ](#)
- 他のアプリケーションやデバイスドライバーは動作していませんか？
MOTIF XFエディター VSTの動作に必要なではないアプリケーションやデバイスドライバーは終了してください。